

テノゼット[®]錠300mg

(一般名: テノホビル ジソプロキシルフマル酸塩)

服薬のしおり

B型慢性肝疾患治療 テノゼットを正しくおのみいただくために

編集協力: 虎の門病院 顧問 熊田 博光
虎の門病院 肝臓内科 部長 鈴木 文孝
虎の門病院 肝臓内科 部長 鈴木 義之

医院・病院名

製造販売元

グラクソ・スミスクライン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1

文献請求先及び問い合わせ先

TEL : 0120-561-007 (9:00~17:45 / 土日祝日及び当社休業日を除く)

FAX : 0120-561-047 (24時間受付)

NP-JP-TDF-PINF-210002-P2111N

改訂年月2021年11月

® : Gilead Sciences, Inc.の登録商標です。

グラクソ・スミスクライン株式会社

目次

テノゼットによる B型慢性肝炎・肝硬変治療にあたって	2
B型肝炎ってどんな病気?	3
テノゼットってどんなお薬?	4
お薬ののみ方は?	5
どんな副作用があるの?	6
なぜ検査が必要なの?	7
どれくらい血液検査するの?	9
Q&A	11

テノゼットによる B型慢性肝炎・肝硬変治療にあたって

テノゼットはB型肝炎ウイルスの増殖(増えること)を抑えるお薬(抗ウイルス薬)です。テノゼットは単独でのむ場合や、他の抗ウイルス薬と一緒にのむ場合があります。他の抗ウイルス薬をのんでいる患者さんで、再度B型肝炎ウイルスが増えてきて肝炎が悪化した場合に他の抗ウイルス薬と一緒にのむ場合があります。

テノゼットは1日1回1錠を継続してのみ続けることで、血液中のウイルスの量を減らし、肝機能を改善させます。しかし、B型肝炎ウイルスを簡単に体から追い出すことはできません。お薬をのむのを止めるとB型肝炎ウイルスは再び増殖を始め、肝炎も悪化してしまいます。体調が良くなったと思っても、先生から指示されるまでお薬を毎日のむことを決して止めないください。このお薬をのんでいる間に、定期的に検査を受けることは症状の改善・悪化を調べる以外にお薬を止める時期を調べる上でもとても重要です。

また、お薬を止めてからもウイルスが増えてきていないかなどを調べるために、検査をする必要があります。これは肝炎が再発した場合に、できるだけ早く対処するためです。

虎の門病院 顧問 熊田 博光

B型肝炎ってどんな病気？

B型肝炎の原因はB型肝炎ウイルスです。

このウイルスが肝臓の細胞(肝細胞)に感染し、次々と増えていきます。ウイルスや細菌のような異物が体内に入ってくると、私たちの体は異物を攻撃して排除しようとします(免疫応答)。

このときウイルスが肝細胞に侵入しているとその肝細胞ごと攻撃するので、肝細胞が壊れて肝炎(肝臓が炎症を起こしている状態)になります。

B型慢性肝炎とは肝機能の状態を示す検査値が6ヵ月以上異常値を示した状態をいいます。

B型慢性肝炎の自覚症状は、多くの場合ほとんどありません。

肝炎が進行していても、全身のだるさや疲れ易さ、食欲不振や悪心を感じる程度です。

肝炎が悪化してきてもなかなか気付かないため注意が必要です。

B型慢性肝炎は、肝硬変や肝臓に病気が進行することもあります。

肝硬変とは肝細胞が壊れたり再生したりを繰り返して、肝臓の表面がゴツゴツして硬くなった状態(線維化)をいいます。

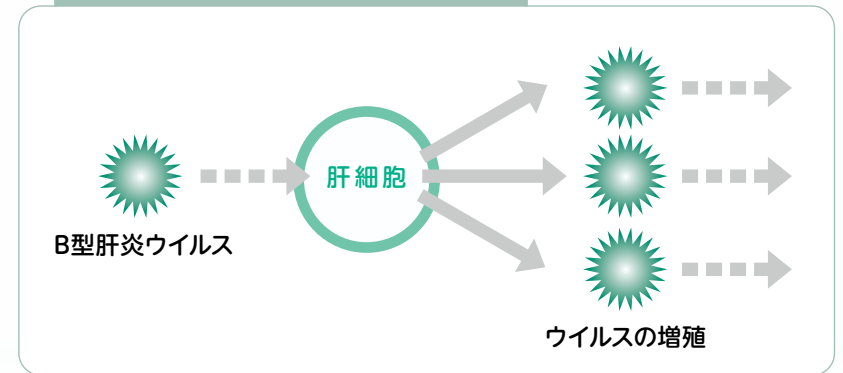
初期の肝硬変では症状が少なく、慢性肝炎とほとんど差がありませんが、線維化の状態が進むと肝臓の働きが悪くなり黄疸(白目や体が黄色になる)や腹水(お腹に水が溜まる)などの症状がみられます。

B型慢性肝炎と同様に、肝臓に進行したり、肝不全を起こすことがあります。

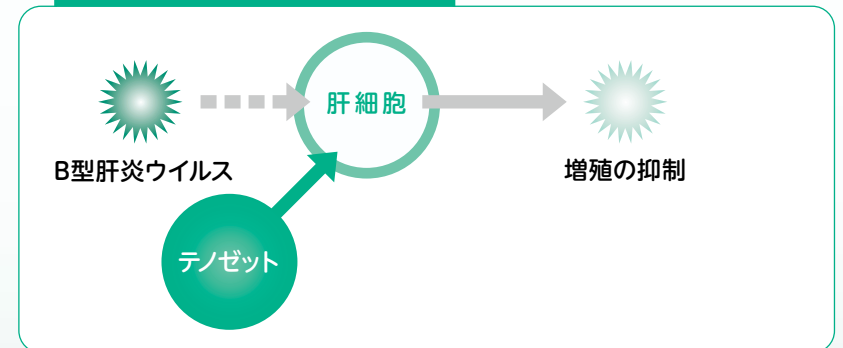
テノゼットってどんなお薬？

B型肝炎ウイルスは肝細胞の中で増殖します。
テノゼットはB型肝炎ウイルスの増殖を抑えるお薬です。

B型肝炎ウイルスの増殖(イメージ)



テノゼットの作用(イメージ)



お薬ののめ方は？

1日1回1錠です。

できるだけ毎日決まった時間にのんでください。

- 食前でも食後でも構いません。
- お水かお湯で飲んでください。
- 生活のリズムを考えて、のみ忘れないようにすることが大切です。

忘れない様に必ずのんでください。

のみ忘れるとウイルスが再び増え、肝炎が悪化する恐れがあります。

ご注意ください

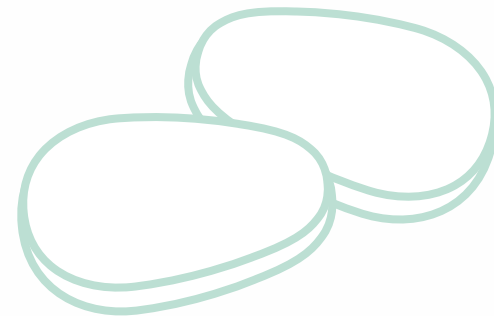
治療には長期間かかることがあります。体調が良くなっても勝手にお薬(テノゼット)をのむのを決して止めないでください。

このお薬を止めると再びウイルスが増え、肝炎がお薬をのむ前の状態に戻ってしまうことや悪化することがあります。

テノゼット(GSK300と刻印のある白い錠剤)は湿気の多い場所での保管を避けてください。

どんな副作用があるの？

- 悪心(胸のむかつき、吐き気等)
- 腹痛
- 発疹



※この他にも変だな、おかしいな、と感じたときは先生に相談しましょう。

こんな方は必ず先生にご相談ください

- ・ 以前にテノゼットでアレルギーなど過敏症があらわれた方
- ・ 腎機能障害のある方(程度によってのむ量の調節が必要です。)
- ・ 妊娠している方、妊娠している可能性のある方
- ・ 授乳中の方
- ・ 他のお薬をのんでいる方(市販薬や別の病気のお薬も含まれます。)

なぜ検査が必要なの？

B型慢性肝炎は自覚症状がほとんどないため、気付かないうちに病状が進行していることも少なくありません。

肝臓の状態やB型肝炎ウイルスの量の変化を知るために、定期的に検査を受ける必要があります。お薬(テノゼット)はB型肝炎ウイルスの量を減らしますが、体調が良いと思っても必ず検査を受けてください。



検査にはこんな項目があります

血液検査

項目	説明
ALT (GPT)	肝臓の細胞(肝細胞)の中に多く含まれている酵素です。肝細胞がたくさん壊れるほど値が大きくなります。
HBV-DNA	B型肝炎ウイルスの遺伝子です。値が大きいほど活発に増えていることを表します。検査値が陰性(-)になってもウイルスが0になったということではありません。
HBe抗原	B型肝炎ウイルスがつくる蛋白質です。血液中にウイルスがたくさんいることを表し、感染力が強い状態です。
HBe抗体	HBe抗原を攻撃するために体がつくった抗体です。HBe抗原がたくさんある状態では通常検出されません。
HBs抗原	B型肝炎ウイルスの表面にある蛋白質です。検査値が陽性(+)であるということは、B型肝炎ウイルスに感染していることを表します。

どれくらい血液検査するの？

- ①お薬をのんでいる間は定期的に検査します。
先生の指示に従って、忘れずに受診してください。

肝機能の状態を検査し、改善(悪化)度合いを調べます。

肝臓の状態を判断する上でも、定期的に検査することはとても重要です。

◆主な検査項目(血液検査)と頻度

項目	実施頻度
ALT(GPT) HBV-DNA	受診毎
HBe抗原 HBe抗体	必要に応じて

- ②先生の指示のもと、お薬を止めた場合も定期的に検査することが必要です。お薬が処方されなくても忘れずに受診してください。

定期的に肝機能の状態を検査し、再発していないかどうかを調べます。B型肝炎が再発した場合に、人によっては急に悪化することもあります。速やかに処置をすることが必要なため、早期に発見することがとても重要になります。

◆主な検査項目(血液検査)と頻度

項目	実施頻度
ALT(GPT) HBV-DNA	2週間毎(中止から4ヵ月)*
HBe抗原 HBe抗体	必要に応じて

*その後も2ヵ月間は毎月定期的に検査します。

Q & A

Q いつのんだら良いですか？

いつでも構いません。朝起きたとき、寝る前、朝食後などご自分の生活のリズムを考え、習慣づけましょう。のみ忘れないことが大切です。

Q 食事の前と後では効き目が違いますか？

特に効き目に変わりはありません。食事の時間や内容で影響は受けません。

Q のみ忘れたときはどうしたら良いですか？

テノゼットはのみ続けることで効果を発揮します。のみ忘れたことに気付いたらすぐに1錠をのんでください。その際、2日忘れたからといって2錠のむ必要はありません。その日からまた1日1回1錠のペースでのみ続けます。何日ものみ忘れた場合は、その間に肝炎が悪化している可能性がありますので必ず先生に相談してください。

Q 変異ウイルスとは何ですか？

遺伝子が変わったウイルスのことをいいます。
B型慢性肝炎の場合は、HBe抗原をつくらないウイルスやお薬が効きにくくなるウイルスなどが確認されています。変異ウイルスを出現させないために、毎日きちんとテノゼットを服用することが大切です。

Q B型慢性肝炎の治療の目安は何ですか？

B型肝炎ウイルスを完全に体からなくすことは難しいといわれていますが、セロコンバージョン(HBe抗原が検出されず、HBe抗体が検出されること)やウイルス量および肝機能検査値(ALTなど)を低く保つことがB型慢性肝炎治療の目安の1つといわれています。

Q お薬をのんでいれば他の人に感染させる心配はないですか？

テノゼットはB型肝炎ウイルスを減らすことができます。しかし体の中からウイルスを完全になくすことは難しいといわれています。そのため、お薬をのんでウイルス量が減っていても他の人に感染させる可能性はなくならないので注意が必要です。握手などの日常的な接触で感染することはありません。

